

適合規格確認票

令和 年 月 日

五 條 市 長 様

(申請者) 受 付 番 号

住 所

商号又は名称

代表者職氏名

1 入札件名 令和 7 年度鳥獣侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵)購入

2 納入予定機器 (メーカー)
(品 名)
(型 番)

項 目		仕 様	適合の 可 否
防護柵の規格・性能	ワイヤーメッシュ柵	ワイヤーメッシュ柵の材質は溶接金網とし、降雨・降雪及び日射等の気象要因に対しても、亜鉛メッキ等により、十分な安定性を有するものとする。 ●本体：H1, 875 mm以上×W2, 100 mm以上のうち下部突き出し 75 mm以上 ●使用素線：径を $\phi 5\text{mm}$ のスクリューメッシュ（ねじり角鉄線を用いた溶接金網 JIS G3559 を耐用年数 14 年以上を有するメッキ処理をしたもの）とする ・使用素線はねじり角鉄線に成型後めっきしたものであること。 （めっき後に成型したものは、めっきの剥離・劣化の恐れがあるため認めない） 線材の引張強度 引張強さ×$\phi 5\text{ mm}$と比較した断面積の割合$\geq 390\text{N/mm}^2$ 溶接せん断強度 せん断強さ×$\phi 5\text{ mm}$と比較した断面積の割合$\geq 220\text{N/mm}^2$ ※線径を $\phi 5\text{ mm}$未満で納品する場合、引張強度試験、溶接せん断強度試験については、公的機関もしくはそれに準ずる機関での試験した結果を提出すること。メーカーでの試験結果は不可とする。 ・また JIS G3547（亜鉛めっき鉄線）の規定する亜鉛めっき特性に準拠した素材を使用すること。具体的には以下①および②の要件を満たすこと。 ① JIS G3547 11.4 で定める試験により、耐用年数 14 年以上と認められる値よりも厚いめっき厚の規格値によって製造されたもの。 ② JIS G3547 11.4 で定める試験により、巻き	

		付けた部分のめっきに著しいき裂または剥離が生じないこと ●下部より 50 cm以下は、目合 110 mm×100 mm角以下であること。 ●下部より 50 cm以上は、目合 110 mm×220 mm角以下であること。	
	鋼管支柱	地元施工のため、施工が容易な分離式（差込み式）支柱とする φ 38.1 mm以上 厚さ t=1.0 mm以上 長さ H=1,800 mm以上（亜鉛メッキ処理）	
	支柱キャップ	鋼管支柱 φ 38.1 mmに対応する樹脂製であること。（キャップの色は紫、橙、黄、緑、青、白、黒、茶色、ダークグレー、赤以外とする）	
	打込支柱	25 mm×25 mm以上 厚さ t=1.6 mm 長さ H=990 mm以上（亜鉛メッキ処理）	
	鋼管パイプ	野生獣によるパネルの持ち上げを防止するため、パネルの下部にパイプを設置する構造とする ・鋼管パイプ φ 19.1 mm以上 厚さ t=1.2 mm以上 長さ 4,000 mm（亜鉛メッキ処理） 野生獣によるパネルの持ち上げを防止するため、パネルの下部にパイプを設置する構造とする。ジョイント部は専用の金具で固定、もしくはパイプを差し込んで繋げる構造とする。	
	亀甲金網	パネルと地表部の接点において野生獣の侵入を防ぐため折返しを設けること。野生獣の接触等に対して必要な強度・変形特性を有し、1箇所が破断しても破断した周囲に影響を与えない構造で有ること。勾配や隙間への対応また後の管理面も考慮し、地表になじむ構造のものとする。 亀甲金網 φ 2.0 mm以上 幅 330 mm以上 目合 60 mm以下（亜鉛メッキ処理）	
	メッシュパネル結束線	●ワイヤーメッシュ柵と支柱との上部、中段部及び最下部で結束できるものとする。 ・#18 長さ 750 mm ステンレス製であること。 ●鋼管パイプと亀甲金網とワイヤーメッシュ柵を最下部で固定できるものとする。 ・#18 長さ 750 mm ステンレス製であること。	
	アンカーピン板羽根付	φ 9 mm以上 長さ 440 mm以上（亜鉛メッキ処理）	

※ 仕様書記載の想定品を含む全ての機器について提出してください。

※ 適合の可否欄に「○」又は「×」を記載してください。

※ 適合の可否欄に「×」ある場合、入札に参加できません。

※ 適合の確認が出来るカタログ・仕様書等（以下「カタログ等」という。）を添付し、カタログ等又はそのコピーの該当箇所をマーカーで示してください。